

取扱説明書

IRINO

301705

CF-GM51B

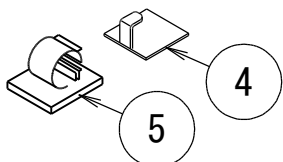
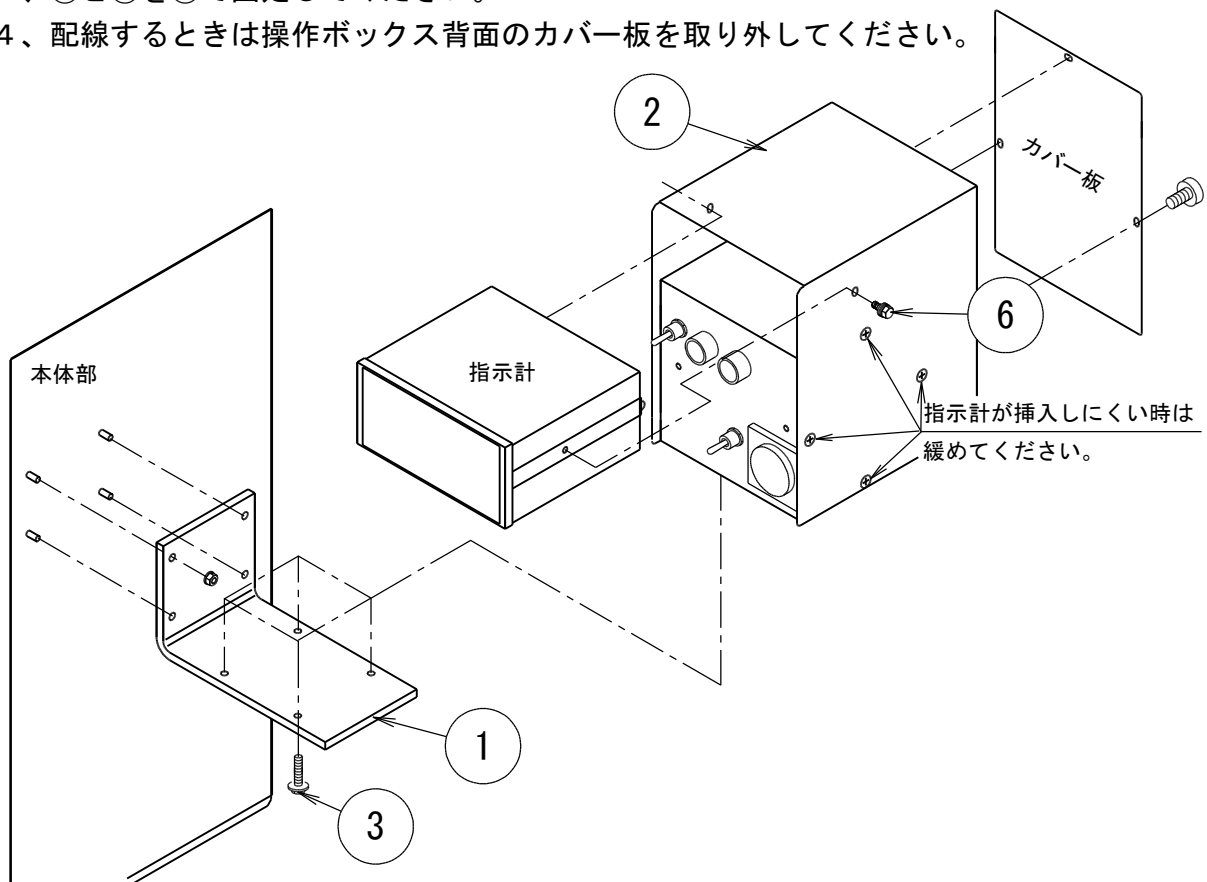
サンプラー操作部TG
TG-3600



操作ボックス取付方法（全自動サンプラー）

操作ボックスの取付け方

- 1、本体部に①をM6セレートナットで取り付けてください。
- 2、指示計を②の空スペースに挿入して⑥で固定してください。
* 指示計が挿入しにくい場合は②の横面に付いているトラスネジを4箇所緩めて挿入してください。
- 3、①と②を③で固定してください。
- 4、配線するときは操作ボックス背面のカバー板を取り外してください。



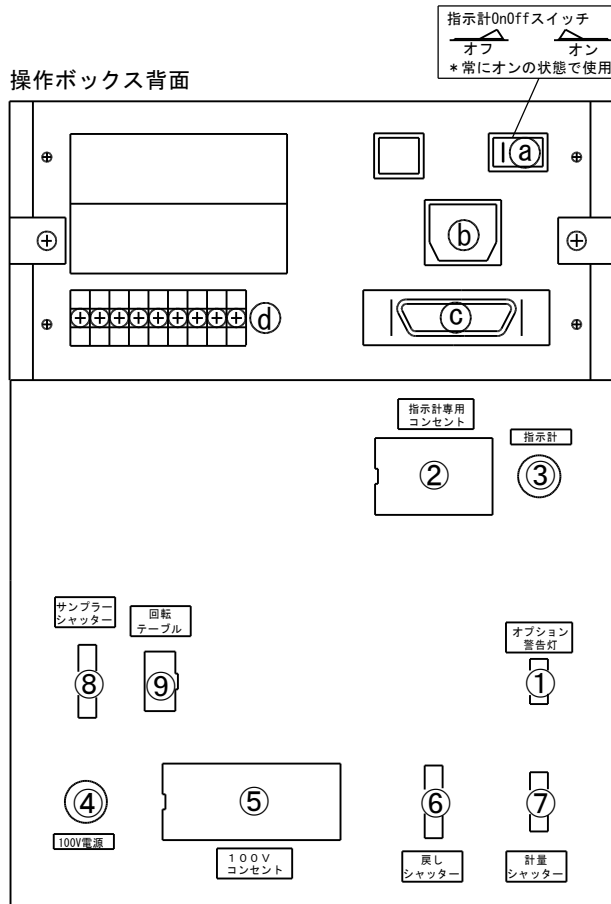
* 必要に応じて④⑤を使用してください。

①	操作ボックス固定板	1
②	操作ボックス	1
③	M6×20P3ボルト	4
④	ハイステッカー	5
⑤	NKクランプ	5
⑥	M6×12P3ボルト	2
⑦		
⑧		

操作ボックス配線方法 (全自動サンプラー)

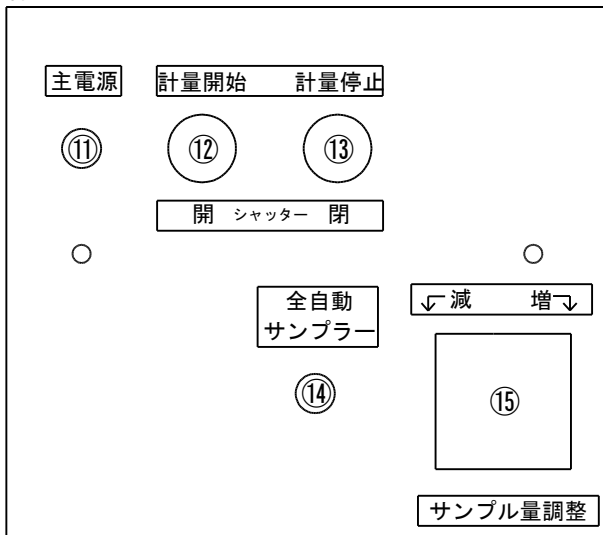
配線方法と各部の名称

1、操作ボックス背面のカバー板を取り外して配線を行ってください。



①	指示計OnOffスイッチ 常にONの状態にしてください
②	電源ソケット 電源ケーブルを接続してください
③	外部コネクタ ③のコネクターを接続してください
④	ロードセル端子台(コネクタ接続の場合もあります) 台秤の配線(ロードセル線)を接続してください
⑤	オプション警告灯(黄)コネクタ (2極コネクタ) 警告灯のコネクタを接続してください
⑥	指示計専用コンセント 指示計の電源ケーブルを接続してください
⑦	指示計コード 指示計の端子台 ⑥ に接続してください
⑧	100V電源コード 100V電源を供給してください
⑨	100Vコンセント サンプラーや30Kg秤の100V電源として利用してください
⑩	戻しシャッターコネクタ (4極コネクタ) 戻しシャッターを接続してください
⑪	計量シャッターコネクタ (3極コネクタ) 計量シャッターを接続してください
⑫	サンプラーシャッターコネクタ (4極コネクタ) サンプラーシャッターを接続してください
⑬	回転テーブルコネクタ 回転テーブルのコネクタを接続してください

操作ボックス前面



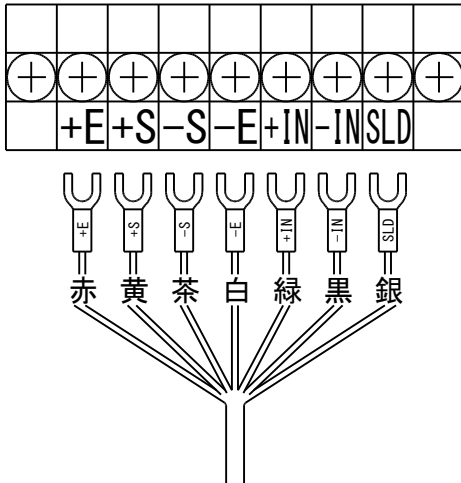
⑪	主電源OnOffスイッチ 操作ボックス、指示計のオン/オフを行います
⑫	緑ボタン 計量シャッターが開き、計量を開始します 定量後の継ぎ足し投入は3秒間長押しでシャッターが開きます
⑬	赤ボタン 計量シャッターが閉じ、計量を停止します
⑭	全自動サンプラーOnOffスイッチ オンにするとサンプル米を自動で取ることができます
⑮	サンプル量調整つまみ 全自動サンプラー時のサンプル米の量を調整できます

指示計と台秤の接続方法

1、台秤からの配線（ロードセル線）を指示計背面に接続してください。

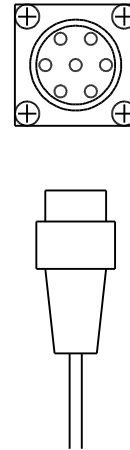
TG-3000

端子台接続になっています。
配線順序に注意してください。



TE-3200 TG-3600

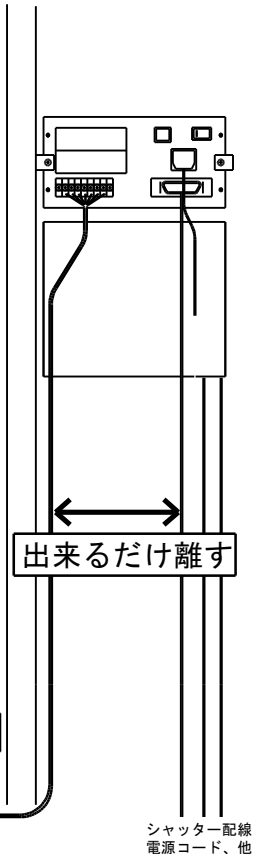
コネクタ接続になっています
差込み向きに注意してください。



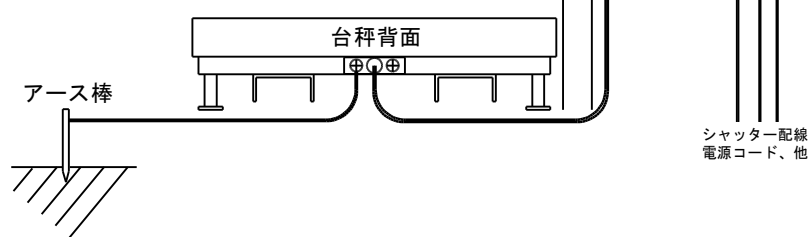
注意

台秤からの配線（ロードセル線）は非常にノイズの影響を受けやすいです。

電源コードやシャッター配線からのノイズの影響を避ける為に **他の配線とは出来るだけ離して配線（結束）**するようにしてください。



2、アース棒は台秤背面の六角ボルトを使用して接続してください。



A large rectangular area with a solid border at the top and bottom, and a dashed border on the left and right sides. The interior is blank, suggesting a space for a drawing or diagram.

指示計の設定方法（定量、定量前1）

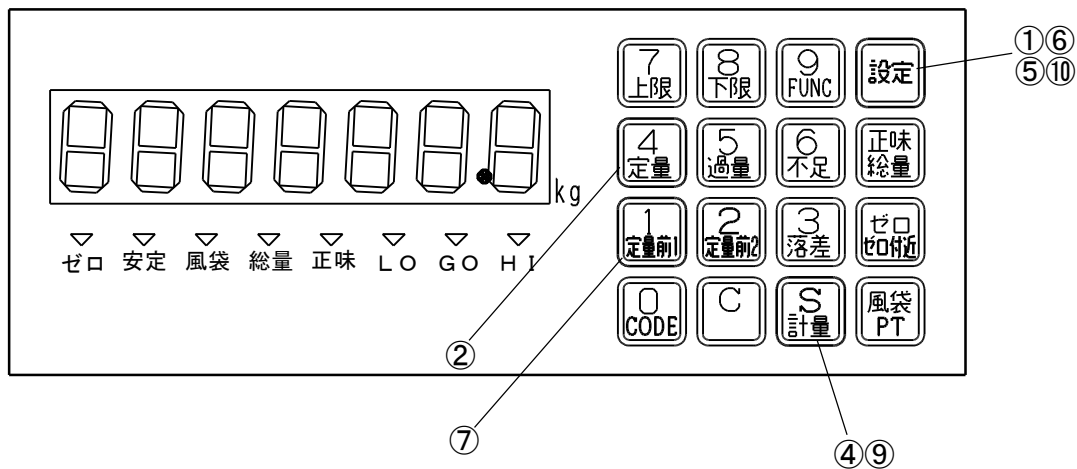
TG-3600

定量と定量前1を設定してください。それ以外の設定項目を変更しないでください。
誤作動の原因になります。設定した内容は電源をOFFにしても保存されています。

定量・・・出荷重量を設定してください。

定量前1・・・大投入から小投入に切り替わる重量です。定量に対して何kg手前で切り替えるかの設定です。
(通常は5kgに設定されています。変更する必要はありません。)

TG-3600 指示計



「定量」設定方法（例 1030.0kgの場合）

- | | | |
|---|--|------------|
| ① | 設定 キーを押してください。 | - 5 E E - |
| ② | 4 定量 キーを押してください。 | F _ |
| ③ | 1 定量前1 0 CODE 3 落差 0 CODE 0 CODE キーを順番に押してください。 | F _ 1030.0 |
| ④ | S 計量 キーを押してください。 | - 5 E E - |
| ⑤ | 設定 キーを押してください。設定終了です。 | |

「定量前1」設定方法（通常は5kgに設定しています。変更する必要はありません。）

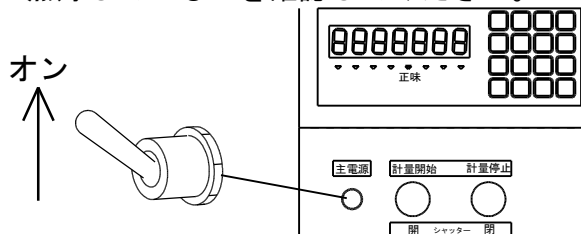
- | | | |
|---|--|------------|
| ⑥ | 設定 キーを押してください。 | - 5 E E - |
| ⑦ | 1 定量前1 キーを押してください。 | b _ |
| ⑧ | 5 過量 0 CODE キーを順番に押してください。 | b _ 0005.0 |
| ⑨ | S 計量 キーを押してください。 | - 5 E E - |
| ⑩ | 設定 キーを押してください。設定終了です。 | |

*途中で入力を間違えた場合は **C** キーを数回押して通常の画面に戻してから再度入力してください。

計量方法

TG-3600

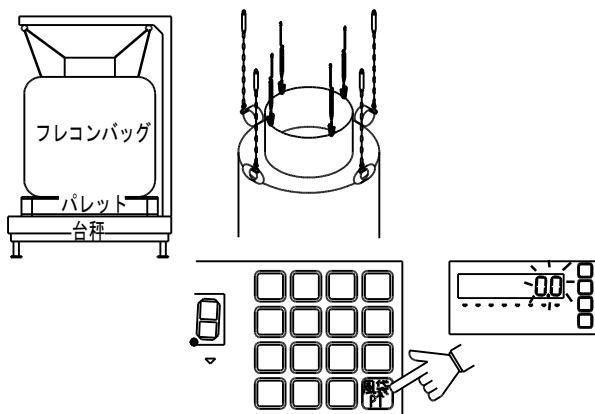
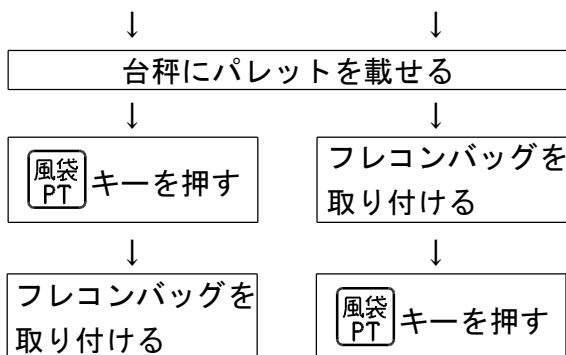
- 1) 操作ボックスの主電源をオンにしてください。
→指示計の電源が入ります。正味ランプが点灯しているのを確認してください。



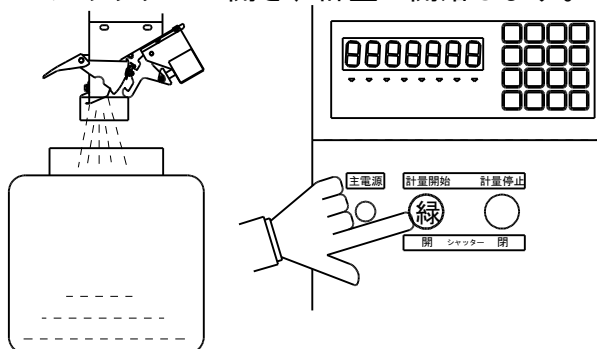
*昇降機を接続しているときは右側のスイッチをオンにすると昇降機が作動します。

- 2) 下記の作業順序に注意してください。

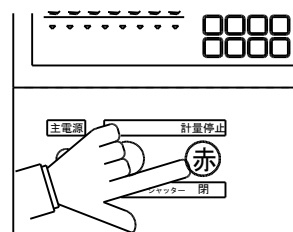
風袋重量を含む場合 風袋重量を含まない場合



- 3) 操作ボックスの緑ボタンを押してください。
→シャッターが開き、計量が始まります。

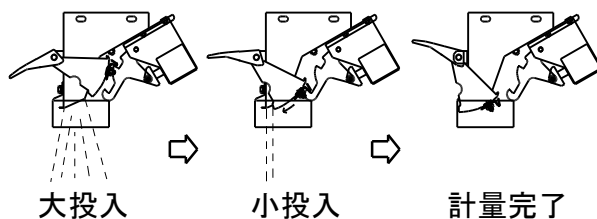


- 4) 計量を途中で一時停止させたい場合は赤ボタンを押してください。
→シャッターが閉じ、計量が停止します。計量を再開するときは 3) を実施してください。

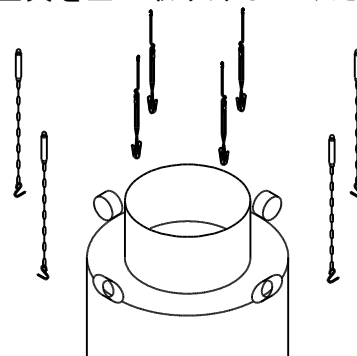


- 5) 定量の数キロ前でシャッターが大投入から小投入に切り替わります。

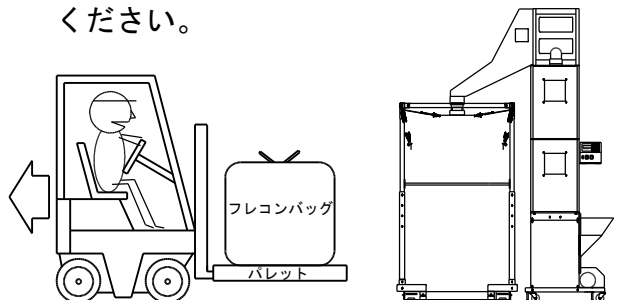
- 6) 定量になったら自動でシャッターが閉じ計量が完了します。



- 7) フレコンバッグホルダーからフレコンバッグの吊り下げ金具を全て取り外してください。



- 8) パレットごとフレコンバッグを取り出してください。



- 9) 再度計量を行う場合は 2) から作業を繰り返してください。

全自動サンプラーの設定方法

TG-3600

注意：下記以外の設定を変更すると誤作動の原因になります。
設定した内容は電源をOFFにしても保存されています。

サンプル米取り出し作業例

定量(出荷重量)・・・1000Kg

a) サンプル回数・・・5回

b) サンプル開始重量・・・10% (100kg)

c) サンプル終了重量・・・90% (900kg)

d) 本体シャッター閉時間・・・20秒

定量に対するパーセントで入力します

→サンプラー作動時、計量を停止する時間です。20秒以下にしないようにしてください。

a) サンプル回数	計量完了	1000kg	100%	定量
	↑ 5回目サンプル取り	900kg	90%	c) サンプル終了重量
	4回目サンプル取り	700kg	70%	a) b) c) を設定すれば
	3回目サンプル取り	500kg	50%	自動設定されます
	2回目サンプル取り	300kg	30%	(均等割り付け)
	1回目サンプル取り	100kg	10%	b) サンプル開始重量
	計量開始	0kg	0%	

a) サンプル回数設定方法 例：5回 初期設定は5回

- ① キーを押してください。
- ② キーを順番に押してください。
- ③ キーを押してください。
- ④ キーを押してください。
- ⑤ キーを押してください。設定終了です。

b) サンプル開始重量設定方法 例：10% 初期設定は10%

- ① キーを押してください。
- ② キーを順番に押してください。
- ③ キーを順番に押してください。
- ④ キーを押してください。
- ⑤ キーを押してください。設定終了です。

c) サンプル終了重量設定方法 例：90% 初期設定は90%

- ① キーを押してください。
- ② キーを順番に押してください。
- ③ キーを順番に押してください。
- ④ キーを押してください。
- ⑤ キーを押してください。設定終了です。

全自動サンプラーの設定方法、操作方法

TG-3600

d) 本体シャッター閉時間設定方法

例：20秒

初期設定は20秒

- ① **設定** キーを押してください。
- ② **9 FUNC** **4 定量** **6 不足** キーを順番に押してください。
- ③ **2 定量前** **0 CODE** キーを順番に押してください。
- ④ **S 計量** キーを押してください。
- ⑤ **設定** キーを押してください。設定終了です。

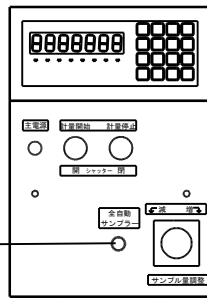
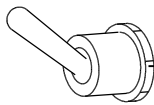


*途中で入力を間違えた場合は **C** キーを数回押して通常の画面に戻してから再度入力してください。

全自動サンプラー操作方法

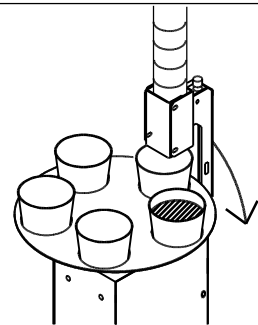
- 1) 操作ボックスの全自動サンプラースイッチをオンにしてください。
→計量中に自動でサンプル取りを行います。

オン

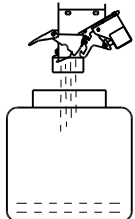


- 5) 回転テーブルが1カップ分自動回転します。

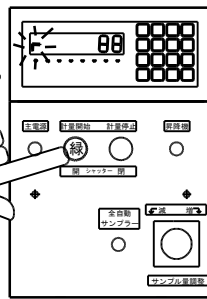
→回転テーブル作動中はサンプル受け板に無理な力を加えないようにしてください。



- 2) 操作ボックスの緑ボタン(計量開始)を押してください。
→シャッターが開き計量が始まります。

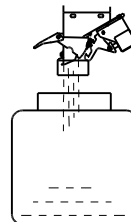


指示計表示部に「**Γ**」表示されます。



- 6) 計量が再開されます。

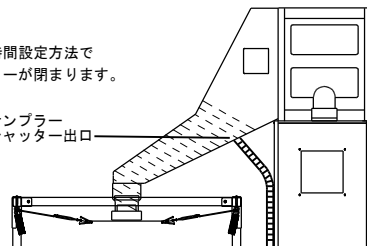
→サンプル取りの重量になると3)から自動繰り返しで設定回数作業が行なわれます。



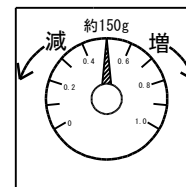
- 3) サンプル取りの重量になると計量を一旦停止します。
→サンプラーシャッター出口まで米を貯めるため。

→d) 本体シャッター閉時間設定方法で設定した秒数、シャッターが開まります。

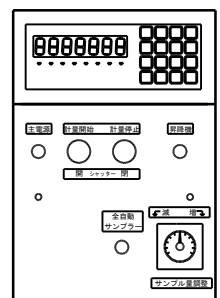
サンプラーシャッター出口



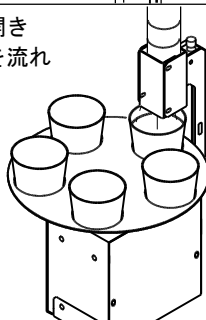
*カップに貯まるサンプル米の量はサンプル量調整つまみで調節してください。



*0.1以下にしないようにしてください。

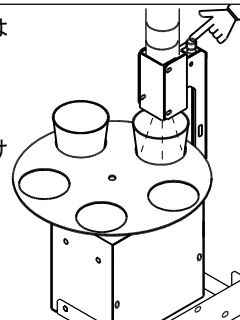


- 4) サンプラーシャッターが開きサンプル米がホースの中を流れカップに流れてきます。



*手動でサンプル米を取り出したい時は回転テーブルの黒ボタンを押すとサンプラーシャッターが開いて手動でサンプル米を取り出す事ができます。黒ボタンを押した時間だけサンプラーシャッターが開きます。

→手動の場合は回転テーブルは作動(回転)しません。

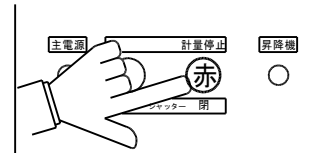


作業上の注意点

定量付近で台秤上に乗リフレコン内の米を整える場合、以下の点に気を付けて作業を行ってください。

1) 定量付近で台秤上に乗る場合は

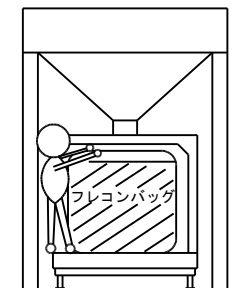
→必ず計量を停止して台秤上に乗るようにしてください。
計量を停止しないで人が台秤に乗ると、人の体重で定量に達してしまい誤作動を引き起こすことがあります。



2) 定量付近で計量を再開する場合は

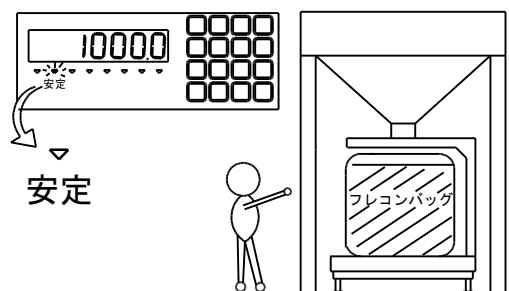
→必ず台秤上から人が降りて、重量値が安定してから計量を再開してください。
人が乗った状態で計量を再開したり、重量が安定していない状態で計量を再開すると、定量値でシャッターが閉まらないことがあります。

1)



→必ず計量を停止して台秤上に乗る

2)



→必ず台秤上から降りる
→重量が安定してから計量を再開する

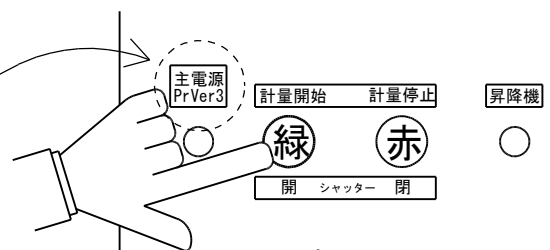
* 計量開始ボタンを押してもシャッターが開かない時・・・

→安全ロック機能が働いています。数秒待ってから計量開始ボタンを押してください。計量シャッターが開き計量が再開されます。

定量後に継ぎ足し投入する場合 (PrVer3のみ)。

定量後に継ぎ足し投入する場合は計量開始ボタンを通常押ししてもシャッターが開きません。

→計量開始ボタンを3秒間長押しすると計量シャッターが開きます。



* 主電源の下にPrVer3と表示しているものが対象です。

3秒間長押し

